

公益財団法人MSD生命科学財団

令和3年度 事業報告書

I. 概況

当財団は、旧万有製薬株式会社（現MSD株式会社）のCSRとして始まった活動を、より継続的・発展的に運営するために平成14年に設立されました。生命科学の研究の推奨及び助成とともに、国際交流を担うべき人材の育成に関する事業として、研究者への研究/留学サポート、研究者育成に繋がるシンポジウムの開催等の活動を行っております。（平成23年4月に公益財団法人の認定取得、平成28年10月に財団名称を変更）

令和3年度は、引き続き、医学分野では4領域の研究助成をメインとした活動、有機化学分野では、シンポジウム等の支援活動を行ってまいりました。ただし、COVID-19の影響により、一部、活動の延期や中止を余儀なくされたものもありました。具体的な事業活動は、次のとおりです。

II. 事業活動報告

1. 医学分野：

1-1. 研究助成

（当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する）

これまでのプログラムを継続し、日本国民の死因トップ3に着目した、がん領域、生活習慣病領域、感染症領域、呼吸器・アレルギー領域に対する研究助成を行った。加えて、研究者のライフイベント（出産・育児・介護）を配慮し、研究の継続を支援した。

➤ がん領域

- 1) 概要： がん治療については、これまでに数多くの研究成果が上がっているものの、依然として、がんは我が国の死亡原因の第一位であることから、より豊かな発想とそれを実現化させる熱意を持ち、がん研究を行う研究者に対して助成を行う。

【若手研究者】

がん治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を目的とし、医学系の幅広い研究を対象とする。さらに、発展的かつ優秀な研究成果を収めた研究者に、表彰と追加助成を行う。

【スタートアップ】

がん研究に一定の成果・実績を有し、日本国内で組織的な研究体制をスタートした研究者を支援する。

- 2) 研究課題： 医学系におけるがんに関する独創的な基礎研究または臨床研究

3) 助成金額： **【若手研究者】**

- 総額 300 万円（150 万円／年×2 年） 10 名以内

【スタートアップ】

- 総額 1,000 万円（500 万円／年×2 年） 1 名以内

<医学奨励賞（追加助成）>

【若手研究者】交付者の中から、2 年間の研究成果を再評価し、優秀な成果をあげた研究者を『医学奨励賞「最優秀賞」、「優秀賞」』として表彰するとともに、それぞれ追加助成を行う。

- 最優秀賞：追加助成金 300 万円（2 年） 1 名以内
- 優秀賞：追加助成金 100 万円（2 年） 2 名以内

4) 募集対象： **【若手研究者】**

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属している医学研究者で、科研費の応募資格がある者
- 満 40 歳以下の者（M.D.は満 42 歳以下）

【スタートアップ】

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属している医学研究者
- 満 45 歳以下の者（M.D.は満 47 歳以下）で、平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日までに、日本国内で新たに講座、教室または研究室の責任者となった者

5) 公募期間： 令和 3 年 4 月 1 日～6 月 30 日

6) 選考： **【若手研究者】【スタートアップ】**

- 令和 3 年 7 月～8 月：選考委員による応募書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の候補者を選出。
- 令和 3 年 10 月：プレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、候補者より口演発表された研究計画について、選考委員による選考により、令和 3 年度【若手研究者】交付者 10 名、【スタートアップ】交付者 1 名を決定。

<医学奨励賞（追加助成）>

- 令和 3 年 7 月～8 月：令和元年度【若手研究者】交付者から提出された、2 年間の研究成果報告書に関し、選考委員による書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の候補者を選出。
- 令和 3 年 10 月：プレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、候補者より口演発表された研究成果について、選考委員による選考により、最優秀賞 1 名及び 優秀賞 2 名を決定。

7) 交付実績： 令和 3 年度は、総額 4,500 万円を交付した。

【若手研究者】

- 令和 2 年度交付者 10 名に 2 年目助成金（各 150 万円）を交付

- 令和3年度交付者10名に1年目助成金（各150万円）を交付

【スタートアップ】

- 令和2年度交付者1名に2年目助成金500万円を交付
- 令和3年度交付者1名に1年目助成金500万円を交付

<医学奨励賞（追加助成）>

- 令和元年度交付者より、最優秀賞1名に追加助成金300万円を交付
- 令和元年度交付者より、優秀賞2名に追加助成金（各100万円）を交付

8) 情報公開： 令和3年度の交付者／医学奨励賞受賞者の情報、及び令和元年度交付者から提出された2年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開した。

➤ **生活習慣病領域**

1) 概要： 生活習慣病関連の基礎・臨床研究分野における若手研究者の独創性を喚起し、優秀な人材を育成することを目的とする。

【若手研究者】

生活習慣病における治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を目的とし、医学系の研究を対象とする。さらに、発展的かつ優秀な研究成果を収めた研究者に、表彰と追加助成を行う。

【スタートアップ】

生活習慣病領域の研究に一定の成果・実績を有し、日本国内で組織的な研究体制をスタートさせたM.D.研究者を支援する。令和元年度から2年ごとに募集を行う。

2) 研究課題： 生活習慣病領域に関する疾病の原因解明と新たな治療法の開発

- 循環器分野（血管障害を含む）
- 糖尿病/代謝分野（糖尿病性腎臓病・脂質代謝を含む）

3) 助成金額： **【若手研究者】**

- 総額200万円（100万円／年×2年） 16名以内

【スタートアップ】

- 総額1,000万円（500万円／年×2年） 1名以内

<万有医学奨励賞（追加助成）>

【若手研究者】交付者の中から、2年間の研究成果を再評価し、優秀な成果をあげた研究者を『万有医学奨励賞「最優秀賞」、「優秀賞」』として表彰するとともに、それぞれ追加助成を行う。

なお、令和3年度は第10回を記念して「選考委員会特別賞」2名も選出し、表彰並びに追加助成を行う。

- 最優秀賞：追加助成金200万円（2年） 1名以内

- 優 秀 賞：追加助成金 100 万円（2 年） 3 名以内
- 選考委員会特別賞：追加助成金 100 万円（2 年） 2 名以内

4) 募集対象： **【若手研究者】**

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属し、基礎研究または臨床への応用研究に意欲的に取り組んでいる研究者
- 満 40 歳以下の者（M.D.は満 42 歳以下）
- 日本循環器学会, 日本高血圧学会, 日本動脈硬化学会, 日本糖尿病学会, 日本腎臓学会 いずれかの会員であること

【スタートアップ】

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属している医学研究者
- 満 50 歳以下の M.D.研究者で、平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月 21 日までに、日本国内で講座、教室の教授（主任教授）に新たになった者

5) 公募期間： 令和 3 年 4 月 1 日～6 月 21 日

6) 選考： **【若手研究者】**

- 令和 3 年 6 月～9 月：選考委員による応募書類審査を実施後、9 月に 2 分野（循環器分野、糖尿病/代謝分野）で選考委員会（オンライン形式）を開催し、令和 3 年度【若手研究者】交付者 16 名を決定。

【スタートアップ】

- 令和 3 年 6 月～9 月：選考委員による応募書類審査を実施後、9 月の 2 分野各選考委員会にて、プレゼンテーション審査の候補者を選出。
- 令和 3 年 11 月：2 分野合同のプレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、候補者より口演発表された研究計画について、選考委員による選考により、令和 3 年度【スタートアップ】交付者 1 名を決定。

<第 10 回万有医学奨励賞（追加助成）>

- 令和 3 年 6 月～9 月：令和元年度【若手研究者】交付者から提出された、2 年間の研究成果報告書に関し、選考委員による書類審査を実施後、9 月に 2 分野で選考委員会（オンライン形式）を開催し、プレゼンテーション審査の候補者を選出するとともに、特別賞 2 名を決定。
- 令和 3 年 11 月：2 分野合同のプレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、候補者より口演発表された研究成果について、選考委員による選考により、最優秀賞 1 名及び 優秀賞 3 名を決定。

7) 交付実績： 令和 3 年度は、総額 4,400 万円を交付した。

【若手研究者】

- 令和 2 年度交付者 16 名に 2 年目助成金（各 100 万円）を交付
- 令和 3 年度交付者 16 名に 1 年目助成金（各 100 万円）を交付

【スタートアップ】

- 令和 3 年度交付者 1 名に 1 年目助成金 500 万円を交付

<第 10 回万有医学奨励賞（追加助成）>

- 令和元年度交付者より、最優秀賞 1 名に追加助成金 200 万円を交付
- 令和元年度交付者より、優秀賞 3 名に追加助成金（各 100 万円）を交付
- 令和元年度交付者より、選考委員会特別賞 2 名に追加助成金（各 100 万円）を交付

8) 情報公開： 令和 3 年度の交付者／万有医学奨励賞受賞者の情報、及び令和元年度交付者から提出された 2 年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開した。

➤ 感染症領域

1) 概要： 感染症の診断・治療・予防について、これまでに数多くの研究成果が上がっているものの、一方で新型コロナウイルスの発現など、感染症は依然として人類にとって深刻な脅威であることから、より豊かな発想とそれを実現化させる熱意を持ち、感染症にフォーカスした研究を行う研究者に対して助成を行う。

【若手研究者】

感染症治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を目的とし、医学系の研究を対象とする。さらに、発展的かつ優秀な研究成果を収めた研究者に、表彰と追加助成を行う。

2) 研究課題： 医学系における感染症の独創的な基礎研究、臨床研究または疫学研究

3) 助成金額： **【若手研究者】**

- 総額 200 万円（100 万円／年×2 年） 7 名以内

<医学奨励賞（追加助成）>

【若手研究者】交付者の中から、2 年間の研究成果を再評価し、優秀な成果をあげた研究者を『医学奨励賞「最優秀賞」、「優秀賞」』として表彰するとともに、それぞれ追加助成を行う。

- 最優秀賞：追加助成金 200 万円（2 年） 1 名以内
- 優秀賞：追加助成金 100 万円（2 年） 1 名以内

4) 募集対象： **【若手研究者】**

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属している医学研究者
- 満 40 歳以下の者（M.D.は満 42 歳以下）

5) 公募期間： 令和 3 年 4 月 1 日～6 月 15 日

6) 選考： **【若手研究者】**

- 令和 3 年 6 月～8 月：選考委員による応募書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の候補者を選出。
- 令和 3 年 12 月：プレゼンテーション審査（対面選考会）を実施し、候補者より口演発表された研究計画について、選考委員による選考により、

令和3年度【若手研究者】交付者7名を決定。

<医学奨励賞（追加助成）>

- 令和3年12月：令和元年度【若手研究者】交付者の2年間の研究成果について、プレゼンテーション審査（対面選考会）を実施し、口演発表された内容について、選考委員による選考により、最優秀賞1名及び優秀賞1名を決定。

7) 交付実績： 令和3年度は、総額1,700万円を交付した。

【若手研究者】

- 令和2年度交付者7名に2年目助成金（各100万円）を交付
- 令和3年度交付者7名に1年目助成金（各100万円）を交付

<医学奨励賞（追加助成）>

- 令和元年度交付者より、最優秀賞1名に追加助成金200万円を交付
- 令和元年度交付者より、優秀賞1名に追加助成金100万円を交付

8) 情報公開： 令和3年度の交付者／医学奨励賞受賞者の情報、および令和元年度交付者から提出された2年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開した。

➤ **呼吸器・アレルギー領域**

1) 概要： 呼吸器・アレルギー疾患の成因、治療あるいは予防については、これまでに数多くの研究成果が上がっているものの、これらの研究が継続、発展することは国民のヘルスケアを推進する上で極めて重要なことと考え、より豊かな発想とそれを実現化させる熱意を持ち、呼吸器・アレルギー領域の研究を行う研究者に対して助成を行う。

【若手研究者】

呼吸器・アレルギー疾患の治療の進歩・発展に貢献できる次世代を担う若手研究者の育成を目的とし、医学系の研究を対象とする。さらに、発展的かつ優秀な研究成果を収めた研究者に、表彰と追加助成を行う。

2) 研究課題： 医学系における呼吸器・アレルギー疾患に関する独創的な基礎研究または臨床研究

3) 助成金額： **【若手研究者】**

- 総額200万円（100万円／年×2年） 4名以内

<医学奨励賞（追加助成）>

【若手研究者】交付者の中から、2年間の研究成果を再評価し、優秀な成果をあげた研究者を『医学奨励賞「最優秀賞」』として表彰するとともに、追加助成を行う。

- 最優秀賞：追加助成金200万円（2年） 1名以内

4) 募集対象： **【若手研究者】**

- 国内の大学、研究機関及び医療機関いずれかに所属している医学研究者
- 満 40 歳以下の者（M.D.は満 42 歳以下）
- 日本呼吸器学会，日本アレルギー学会，日本小児アレルギー学会のいずれかの会員であること

5) 公募期間： 令和 3 年 4 月 1 日～ 6 月 30 日

6) 選考： **【若手研究者】**

- 令和 3 年 7 月～ 9 月：選考委員による応募書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の候補者を選出。
- 令和 3 年 11 月：プレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、候補者より口演発表された研究計画について、選考委員による選考により、令和 3 年度【若手研究者】交付者 4 名を決定。

<医学奨励賞（追加助成）>

- 令和 3 年 11 月：令和元年度【若手研究者】交付者の 2 年間の研究成果について、プレゼンテーション審査（オンライン選考会）を実施し、口演発表された内容について、選考委員による選考により、最優秀賞 1 名を決定。

7) 交付実績： 令和 3 年度は、総額 1,000 万円を交付した。

【若手研究者】

- 令和 2 年度交付者 4 名に 2 年目助成金（各 100 万円）を交付
- 令和 3 年度交付者 4 名に 1 年目助成金（各 100 万円）を交付

<医学奨励賞（追加助成）>

- 令和元年度交付者より、最優秀賞 1 名に追加助成金 200 万円を交付

8) 情報公開： 令和 3 年度の交付者／医学奨励賞受賞者の情報、および令和元年度交付者から提出された 2 年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開した。

➤ **4 領域合同研究発表会**

- 1) 目的： 交付者に対して、専門領域でのより深い研鑽に加え、同世代あるいは異なる領域での研究者及び選考委員との交流による新しいネットワーク構築の機会を提供する。
- 2) 事業活動： 令和 4 年 2 月に、研究助成 4 領域（がん，生活習慣病，感染症，呼吸器・アレルギー）の選考委員及び交付者／医学奨励賞受賞者が参加する研究発表会の開催を計画していたが、COVID-19 の影響を鑑み、開催を断念した。

➤ **がん医療政策に関する研究** 【令和元年度特別助成プログラム】

- 1) 概要： がん治療における経済的、社会的な利益は政策的議論の際に重要であり、これらの利益は患者本人のみならず周囲の人々にとっても生産性や効率性の観点から政策的な要素として重要である。特定の治療や治療による臨床的価値以外における「がん医療政策に関する研究」に対して助成を行う。
- 2) 研究課題： 日本国内または国内外の比較において、がん医療（医療倫理、診断、治療を含む）の社会経済的な価値に着目し、がん患者の健康アウトカムの向上を目的とした政策提言に資する研究
- 3) 助成金額： 1件あたり500万円（2年間）2件以内
- 4) 募集対象： 医療経済、医療制度、医療政策、社会保障政策、医薬品産業政策などを研究テーマとし実践応用・計画発信する研究室または研究グループ
- 5) 公募期間： 令和元年度特別プログラムにつき、令和3年度の公募はなし
- 6) 交付実績： 令和3年度の新たな助成金の交付はなし
- 7) 事業活動： 令和元年度交付者2名及び選考委員5名出席による最終成果報告会を、令和3年11月に開催（対面形式）した。
- 8) 情報公開： 令和元年度交付者から提出された2年間の研究成果報告書を、財団ホームページに公開した。

1-2. 海外留学助成 【平成30年度にて募集終了】

（当事業は、「助成(応募型)」の事業区分に該当する）

我が国の学術研究の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を育成・確保するため、優れた若手研究者が海外へ留学し、大学等研究機関において研究に専念できるよう支援した。

なお、海外留学助成の募集は、平成30年度をもって終了した。

➤ **呼吸器・アレルギー領域**

- 1) 概要： 若手研究者の海外留学を助成し、優秀な研究者の育成を図る。
- 2) 募集対象： 呼吸器・アレルギー領域の研究を行う、満40歳未満の研究者
- 3) 交付実績： 令和3年度の新たな助成金の交付はなし
- 4) 事業活動： 帰国者による帰国報告会開催を予定していたが、COVID-19の影響を鑑み、令和4年8月に開催を延期した。

2. 有機化学分野：

2-1 シンポジウム（学術講演会の開催並びに助成）

（当事業は、「講座、セミナー、育成」の事業区分に該当する）

- 1) 目的： 講演会の開催並びに助成により、薬学、農学、工学、理学など関連学部の学生並びに若手研究者の育成と学術知識の普及を図る。
- 2) 対象： 大学及び大学院の学生他
- 3) 活動内容：

① 各地区（福岡、仙台、札幌、名古屋、大津）シンポジウム

令和3年度は、COVID-19の影響により、昨年度に引き続きオンライン開催となった。

- 3地区（福岡、仙台、札幌）の学術講演会は、約1,250名が参加した。福岡では、野依良治先生による特別講演並びに学生とのパネルディスカッションが行われた。
- 第25回名古屋メダルセミナーは、ゴールドメダル受賞者の来日の目途が立たず、令和2年から延期されていたが、令和4年3月3日にオンライン形式で開催され、約400名が参加した。
- 福岡、仙台、札幌、名古屋はオンライン開催により、全国さらには海外からの参加があり、これまで以上に多くの方への機会提供となった。各地区ともに、学生からの質問が活発に行われた。
- 第12回大津会議は、全国から選抜した20名の若手研究者の討論・交流が行われた。令和3年9月に予定していた第3回大津会議合同研究発表会は、COVID-19の影響を鑑み、令和4年度に延期された。

② 万有シンポジウム連絡協議会

- 有機化学支援活動の更なる充実を目的とする「万有シンポジウム連絡協議会」であるが、COVID-19を鑑み、集合での会議開催は中止した。今後は、会議開催の形式から協議会委員との個別面談による意見交換の形式に変更する。

2-2 Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA

（当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する）

- 1) 目的： 優秀な研究者を選抜し研究交流の機会を与えることにより、有機合成化学分野の学術振興に貢献する。
- 2) 募集対象： 有機合成化学及びその関連分野 満40歳未満の研究者
- 3) 助成内容： 優秀な若手研究者を「Lectureship Award MBLA」1名、「Chemist Award BCA」5名程度選出し、表彰する。
「Lectureship Award MBLA」受賞者へは、海外（欧米）の一流研究機関を巡る講演ツアーを助成し、当財団の関連シンポジウムにおいても講演機会を与えるプログラム。
- 4) 公募期間： 令和3年6月1日～8月15日

5) 活動内容：

- 令和3年9月：選考委員による書類選考により「Chemist Award BCA 2021」4名を選出（MBLA 候補者）した。
- 令和3年12月：MBLA 選考会（英語によるプレゼンテーション審査）を開催し、候補者から口演発表された内容について、選考委員による選考により、「Lectureship Award MBLA 2021」受賞者を決定した。受賞者は財団ホームページに公開した。
- 令和3年5月開催「第32回万有仙台シンポジウム」にて、「Lectureship Award MBLA 2020」受賞者の受賞講演並びに授与式が行われた。
- 海外（欧米）の著名な大学／研究所での講演ツアーは、COVID-19の影響により、令和4年度以降に延期となった。

2-3 KYOTO Rising-Star Lectureship Award

（当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する。）

- 1) 目的： 海外の優秀な若手研究者を選出・表彰し、日本の若手研究者との交流の機会を与えることにより、国内外の若手研究者の啓発と育成を含め、有機化学分野の学術振興に貢献する。
- 2) 募集対象： 有機化学及びその関連分野 満40歳未満の研究者（令和3年度は欧州在住者対象とする）
- 3) 助成内容： 海外の優秀な若手研究者を1名選出・表彰するとともに、日本での一流研究機関等を巡る講演ツアーを助成するプログラム。
- 4) 公募期間： 令和3年3月1日～4月20日
- 5) 活動内容：
 - 令和3年4月～6月、選考委員による応募書類審査を実施後、6月に選考会（オンライン形式）を開催し、「KYOTO Rising-Star Lectureship Award 2021」受賞者を決定した。受賞者は財団ホームページに公開した。
 - 受賞者の来日講演ツアーは、COVID-19の影響により令和4年度以降に延期となった。

III. 管理業務報告

1. 令和2年度事業報告及び決算等について、令和3年5月31日開催の理事会にて承認され、6月24日開催の評議員会において、決算書類が承認された。
2. 令和3年6月23日、麴町税務署に正味財産増減計算書の提出を行った。
3. 令和3年6月25日、内閣府に対して、決算書類に関する定期提出書類の提出を行った。
4. 6月の評議員会において選任された理事（5名の重任）、監事（2名の重任）、定年にて退任した理事1名について、変更登記を行った。
5. 令和4年1月25日に出捐会社に対し、財団のガバナンスや助成活動詳細等の説明を行い、3月29日に事業規模変更計画の説明を実施した。
6. 医学分野及び有機化学分野への継続支援を前提とした令和4年度事業計画及び収支予算等について、令和4年2月18日開催の理事会にて承認され、同月28日の評議員会において報告された。また、3月17日、内閣府に対して、予算書類に関する定期提出書類の提出を行った。

以上